

第35回全日本民医連振動病交流集会

現地実行委員会ニュース No.4

発行日 2019年12月16日

前回に引き続き、道南勤医協で労災医療を担当している医師集団の紹介です。振動病は担当していませんが、労災医療の一翼を担っています。

さ さ き さとる
佐々木 悟 医師
(道南勤医協理事長)



道南地域には炭鉱・トンネル工事に従事してきた労働者が多く、じん肺に罹患している患者も多いことが道南の特徴でもあります。稜北クリニックの患者数は137名。日常的には前回紹介した畑中医師と分担し、労災申請に関する診断書作成等に関しては、佐々木医師が一手に担っています。また、江差診療所に27名、八雲ユースラップ医院に5名のじん肺患者が通院しており、各診療所で月2回じん肺患者の診察も担っています。北海道でのトンネルじん肺訴訟は現在、第6陣が行われていますが、1996年に佐々木医師が赴任され、じん肺の労災認定が急増する中で、じん肺裁判に発展した経緯もあります。

「函館」と言ったら「イカ」は、ひと昔前

「朝食にイカ刺」は、函館では一般的な家庭で見られていた庶民の味。ここ数年続く不漁で今では高級品になりつつあります。早朝、おばちゃんがリヤカーを引いてイカを行商していたのは、遙か昔のこと。「さきいか」などの珍味は、ここ数年で倍以上の価格に。今では、ほとんど食卓に上がらない食材になってしまいましたが、JR函館駅内におもしろいイカを発見したので紹介します。一杯のイカを目の前でプレスして作ってくれるせんべいです。ソウルフードではありませんが、インスタ映えは間違いなし(?)。



集会参加申込(締め切り:2020年1月27日(月))

抄録登録(締め切り:2020年2月20日(木))

用紙
お手元に
届きましたか

各用紙は「全日本民医連ホームページ」 → 「職員・共同組織のみなさま」
→ 「自主研究会 今年度の予定」 → 「2019年度」からダウンロードできます。

【お問い合わせ先】 第35回全日本民医連振動病交流集会 現地実行委員会事務局
事務局長 稜北クリニック 事務長 中尾 健
事務局 稜北クリニック 医事課主任 前川 孝治
稜北クリニック 電話:0138-54-3116 FAX:0138-54-3115
メール:ryouhoku@donank.jp